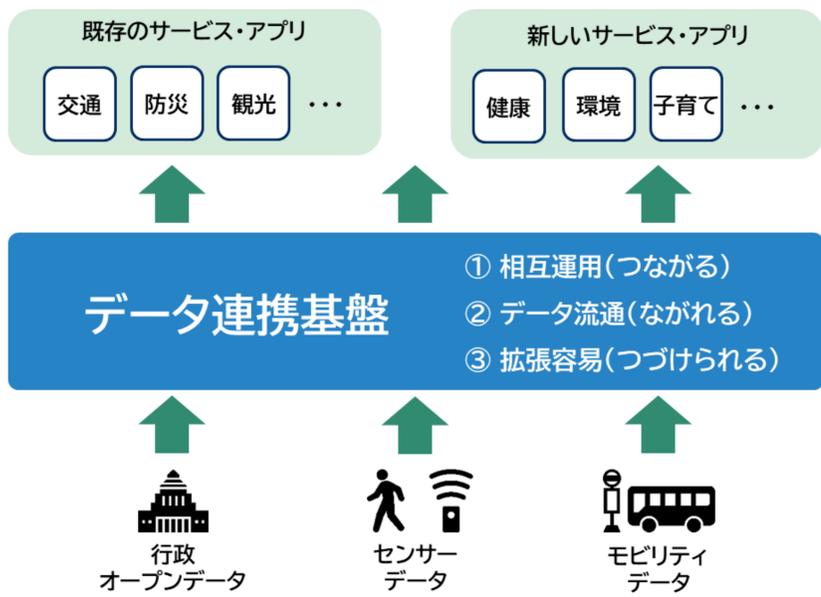


スマートシティにおける データ連携基盤活用サービス



データ連携基盤とは

スマートシティを実現するために最も重要な機能の1つ。データ連携基盤を使うことで、従来よりはるかに効率的に、複雑な社会課題を解決するサービスを開発できるようになります。



仙台市のデータ連携基盤

国内で高いシェアを得ている「FIWARE（ファイウェア）」をベースに構築。国の標準規格に準拠しているため、他都市へのサービス横展開が可能になります。

FIWAREは、センサーやIoT機器などのデータ連携を得意としているほか、Web APIでデータ登録・データ参照（取得）を実行できることが特徴です。

本日実機を展示中です！



これまでの取り組み①

『仙台市データ連携基盤活用モデル事例創出事業』

データ連携基盤を活用し、データの組み合わせによる社会課題の解決に寄与する新しいサービス創出を目指すプロジェクトを募集し、令和5年度に3件実施しました。

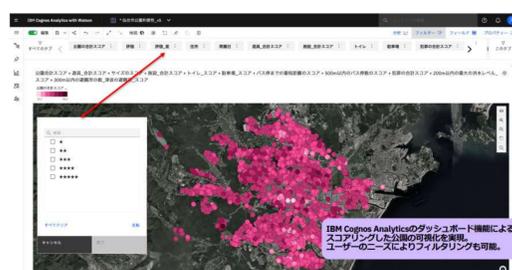
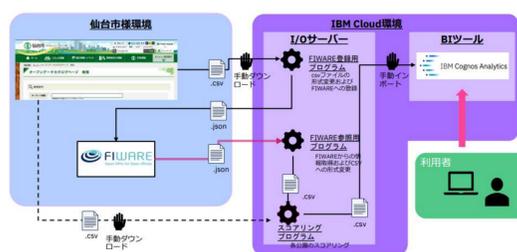
福祉避難所への最適避難ルート作成

津波浸水想定データ等を使って、浸水地域を回避する避難ルートを自動生成するサービス。



「わんぱくフレンドリースコア」の算出、表示による子育て世帯のウェルビーイング向上

市内の公園を面積や設備情報等からスコアリングし、安全な子連れの外出を促すサービス。



IoT技術を活用した避難行動要支援者や子どもの避難支援

位置情報と避難所データをマップに表示し、高齢者や子どもを見守るサービス。

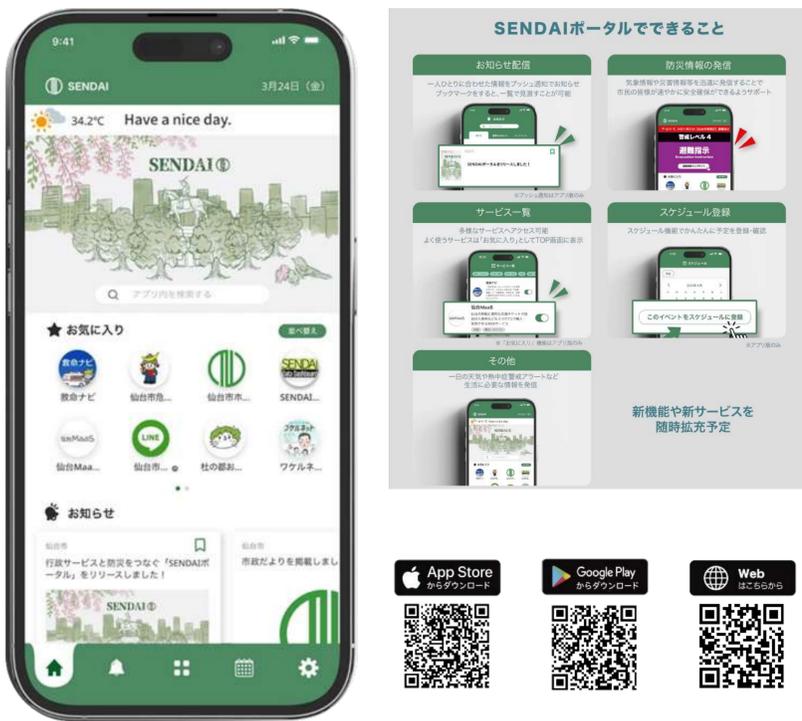


スマートシティにおける データ連携基盤活用サービス



これまでの取り組み② 『SENDAIポータル』

一人ひとりに合わせたお知らせ情報や気象情報、災害情報等を速やかに発信する仙台市公式サービス「SENDAIポータル」をオープンしました。



担当：まちづくり政策局プロジェクト推進課

これまでの取り組み③ 『SENDAIデータダッシュボード』

(一社) まちくる仙台と協力して、Bluetooth検知センサーを中心市街地28カ所に設置し、センサー周辺の通行量を常時計測しています。

通行量データは、データ連携基盤に連携させて「SENDAIデータダッシュボード」で誰でも見られるようにしました。



サービス全体：まちづくり政策局プロジェクト推進課
通行量データ関係：同 まちのデジタル推進課



新たな取り組み 『DATA SENDAIプラットフォーム』

企業、教育・研究機関、地域団体などの多様な主体によるデータ連携の推進に取り組むプラットフォームとして、令和6年7月にスタートしました。

プラットフォームの会員になると、データ連携基盤の実証環境提供、技術サポート、サービス開発・広報支援などを受けることができます。

また、データ連携基盤を活用するサービス・アプリ等の開発支援を行っており、令和6年度は5プロジェクトを採択して実施中（報告会を3月開催予定）。

DATA
SENDAI
PLATFORM

12/18(水) ワークショップ開催！

慶応大SDM研究科の「システム×デザイン思考」を学んで、FIWAREを活用したサービスアイデアを創出するワークショップです。

日時：2024/12/18(水) 13:00-18:00
オンライン会場あり、参加無料、事前申込制

詳細は
こちら↓



お問合せ

仙台市まちづくり政策局デジタル戦略推進部
まちのデジタル推進課

TEL：022-214-1248
MAIL：mac001735@city.sendai.jp